



安全教育の
推進

浦和学院高校
野球部

2018.12.19

Urawagakuin.High.

常に「マウスガード」を意識

スポーツ外傷防止活動の一環として、本校は研究指定校の認定を受けている。特に従来から叫ばれている歯・口の健康づくりを意識し、スポーツ外傷の中でも「歯」の怪我が多いことから、生徒たちの安全を考え導入されたものである。

(社)日本学校歯科医会／スポーツ外傷防止教育普及委員会では、日本高野連と連携し、高校野球における「マウスガードの装着」に取り組み、県内の川越工業高校と本校が研究指定をうけている。

前埼玉県高野連専務理事の高間薫(本校副校長)は、「首から上の部分の怪我は生死に関わる。また、失明、永久歯の損傷は、何物にも変えがたい、万全の対策を考えるべき」と語る。専属チームが本校に派遣され、定期的に使用状況、使用中における不具合の点検に時間を費やされる。

その成果は、

1. 選手は「走攻守」の怪我から守られ、保護者からの感謝の声も多い。
2. マウスガードの使用を意識し、装着することで怪我の防止を心がけている。
3. 多くのプロ野球選手が「歯」の重要性を説き、力のバランス次第では打撃力向上にも役立つ可能性がある。

本校で2年間使用した状況。生徒たちは、安心して活動に専念している。



定期的にかンファレンスが行われ、使用状況の確認と調整を行ってくださる。

(日本医科歯科大学／明海大学 協力)



歯は、野球人の生命線
マウスガード装着中

浦学野球部の安全意識

ヘルメットは当たり前、大切な部分をきちんと守る「ガード」の装着は練習中必須!!



歯



股



頭



顔